

目次

<解説>

- 1. 熊本県における工場誘致の姿……8
- 2. 東南アジアとバンコク見本市……16
- 3. 体質改善をはかる職業訓練……29
- 4. 中小企業の構造改善……28
- 5. 中小企業退職金共済制度とは……31

□ ここに人あり

炎と土と執念・酒井正枝さん……25

★県政サロン★

東南アジアへ伸びる県物産……14

県政	・寡婦福祉資金貸付制度とは……33
なんでも相談	・胃がん検診車の利用……34

☆話のくずかご

宝塚雑感・牛島盛光……36

□万国博と熊本……35

□ ずいそう □

寺田馨・新開宗幸・樋口恒夫

★★グラビヤページ★★

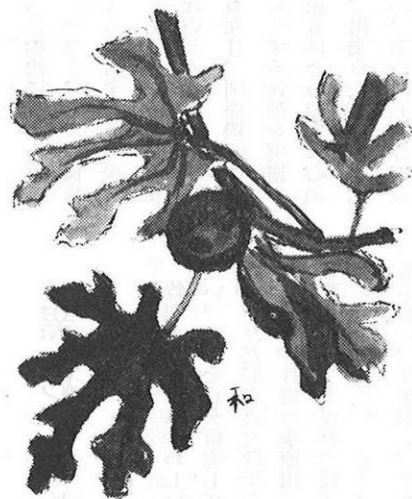
<特集> 東南アジア見本市の旅から

- ・移動図書館「いずみ号」の活躍
- ・熊本の特産。ある青春、ほか

★センターカラー……国立阿蘇青年の家

★表紙……黒石原初冬

★本文目次カット・山上和



県北を縦に走る

「神戸1く1904」。車体に「東京-大阪-九州」の文字を入れた、神戸ナンバーの大型トラックが、峠をあぐように登りつめると熊本県。小栗峠である。

ルート3。県内を走る他の国道に比べて、車の数はきわだって多い。軽快に走る乗用車、そして荷物を満載したトラックが轟音をあげて行きかう。ルート3は、「道」が人間の生活の動脈であることを、いまさらのように感じさせるのである。鹿北町から山鹿市へ。仙台や千葉、大阪ナンバーも走っている。ルート3は、2号線、1号線を通って東京に通じている。そして、北は北海道までも走る日本の産業経済の大動脈ということができようか。

植木町。「高速道路土運搬車」のステッカーをつけたトラックが、土を満載して走っている。いま、九州縦貫自動車道・植木インターの建設が盛んに行なわれているのである。車は北部町から熊本市浄土寺へ通じる新ルート3へ。往路二車線の路面を車がスムーズに流れていく。

夜、熊本市に入る車は、目を見はる。熊本城の浮きぼりされた夜景をはじめ、熊本の夜は美しい。その中を、ルート3は夜も休まずに走りつづけるのである。

<ルート3のメモ> 起点の門司から終点の鹿児島まで、九州を縦断する延長391キロの幹線道路。県内は鹿北町の小栗峠から水俣の県境まで141キロ。うち、小栗峠から熊本市役所前までは43キロ。



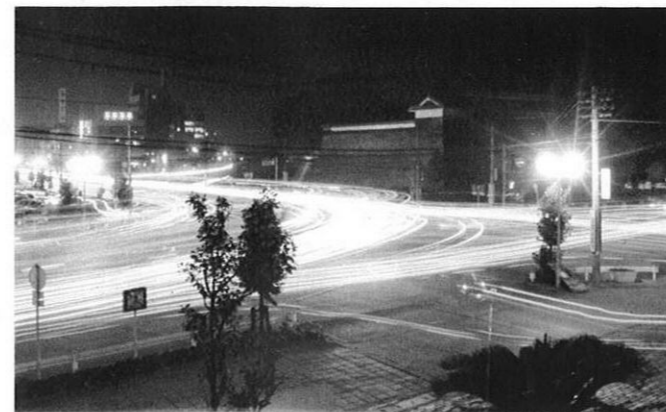
▲県境の小栗峠…長距離輸送トラックが目立つ。



▲道路拡張工事を横に見ながら…。



▲交通の激しいルートだけに陸橋も多い。



▲美しい夜景の熊本市へ着いた。



▲一路熊本市へ。車の量も多くなってくる。